

## 祝福の基として生きる

創世記二二章

あなたは生まれた地と親族、父の家を離れ／私が示す地に行きなさい。私はあなたを大いなる国民とし、祝福し／あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福の基となる。(1、2)

後に「信仰の父」と呼ばれるアブラハムの信仰のスタートは、この神の語りかけに始まりました。神は特別にアブラハムを選び、住み慣れた地を離れ、神が示される新しい地へ出ていくようにと命令されました。この命令には祝福の約束が伴っていました。アブラハムを祝福することを通して、他の全ての民を祝福しようとする神は言われるのです。神の祝福はアブラハム個人の繁栄のためではなく、世界の祝福の源となるためです。ここに、教会の存在意義があります。私たちが神に召されたのも、自己拡大のためではなく、私たちを通して周りの人々に神の祝福が届けられるためです。召された者たちの集まりである教会は、他者のために存在するものであり、他の全ての民の祝福が私たちにかかっています。私たちの教会が私たちの周りに生きる人々の祝福の基となりますように。